

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	気候変動に対応した水利用の調整制度に関する検討経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H23		担当課室	水政課		課長 藤原健朗		
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について」(社会資本整備審議会答申)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	気候変動に伴い、大規模渇水、融雪水の減少等により水利用への影響等が懸念されていることから、利水者間の円滑な水のやりとりを通じて、時々の需要に応じた合理的な水利用の実現を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	諸外国での現地調査により、水利権取引等に関する制度及び実例、渇水リスクの増大に対応した近年の制度改革等について情報を収集するとともに、国内の水利用に関して、関係者のヒアリング等により我が国の水利調整等の実態を把握する。また、これらの調査結果をもとに、有識者による検討委員会において、諸外国及び国内の水利用調整の分析を行い、合理的な水利用のあり方に関する考え方を取りまとめる。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	11	9	-	-	
	執行額	-	11	8	-	-		
	執行率(%)	-	-	98.21%	89.61%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	26 渇水影響度		成果実績					
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国内外の水利権制度・水融通等に関する報告書		活動実績(当初見込み)	一式	-	-	100%	-
					-	(55%)	(100%)	-
単位当たりコスト	18,913(千円/1式)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に伴い、大規模渇水、融雪水の減少等により水利用への影響等が懸念されていることから、既存の水資源を有効活用する必要性がますます高まっており、その方策を検討することが喫緊の課題である。 ・河川法等に関する制度・運用の検討であることから、国において行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先は、広く公募を行った上で、価格面及び成果物の品質確保のための技術面の両方の観点から評価し、選定を行っており、選定の妥当性・競争性は確保されている。 ・その他、委員への謝金などの支出については、真に必要な経費のみを支出しているところである。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績について、国内外の現地調査を予定通り行うとともに、有識者を含めた検討会を9回開催した。 ・成果物は適切に活用している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>逐次、打合せ及び電話連絡等により、業務の進捗状況等の把握を行い、適正に業務が遂行されているか確認を行った。また、契約時に、業務の主たる部分に係る再委託は禁止しており、結果、再委託はしていない。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>昨年度の行政事業レビューで廃止。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0177

国土交通省
8.1百万円

諸謝金
0.8百万円

職員旅費
0.1百万円

委員等旅費
0.9百万円

業務発注、全体管理、学識
経験者による検討会運営等

【総合評価方式一般競争入札】

A. (株)東京建設コンサルタント
6.3百万円

過去の水利権の譲渡等に関する海外事例
の研究成果等の整理
水利権の転用等に関する国内事例の現地
調査の実施
水利権の譲渡等に関する海外の制度
事例等の現地調査の実施
検討会の実施補助
報告書の作成

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)東京建設コンサルタント			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	過去の水利権の譲渡等に関する海外事例の研究成果等の整理、水利権の転用等に関する国内事例の現地調査の実施、水利権の譲渡等に関する海外の制度、事例等の現地調査の実施、検討会の実施補助、報告書の作成	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京建設コンサルタント	過去の水利権の譲渡等に関する海外事例の研究成果等の整理、水利権の転用等に関する国内事例の現地調査の実施、水利権の譲渡等に関する海外の制度、事例等の現地調査の実施、検討会の実施補助、報告書の作成	6.3	2	93.75%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					